

令和3年度事業計画書

I 令和3年度 基本方針

本財団は、平成23年4月に山口県知事から公益財団法人として認定され、令和2年度まで、公会堂、図書館など6施設の指定管理者として防府市から指定を受けており、各施設において様々な事業を企画運営し、市民文化と教育の振興に努めてまいりました。

今年度、文化事業は、コロナ禍により十分な活動はできませんでしたが、音楽事業として「第20回防府音楽祭」、展覧会として「りおたのスポーツ名場面集」を開催するなどし、好評を博しました。

山頭火ふるさと館事業では、企画展開催の他に財団他館との連携を図り、相互の事業発展につなげてまいりました。

科学事業でも、昨年度は新型コロナウイルスの影響により、臨時休館や体験型の展示物・イベントの休止や中止を余儀なくされました。そこで、触らなくても科学的学び効果の高い、春の企画展「へんしん！錯覚立体展」と特別展「国際周期表年特別展」を長期開催し、また、パネル展を含む「スポット展」と称した展示型のミニ企画等を急遽、企画・開催し、少しでも多くの来館者に科学の普及と学びを提供できるよう努めました。

図書館事業では、教育及び文化の情報拠点として、図書館資料・情報提供サービスの向上・強化を図るとともに、その資料・情報を活用できる生涯学習活動の場として、集会・文化活動の推進に努めました。

また、「防府市図書館サービス振興基本計画」や「第3次防府市子ども読書活動推進計画」に基づき、図書館利用促進や読書活動推進のための施策に取り組みました。

令和3年度は、第4期指定管理のスタートの年にあたることから、これまで以上に内容の充実を図りながら事業活動を展開してまいります。

なお、山頭火ふるさと館は当財団から防府コンベンション協会へ指定管理が移ったことから、5施設の指定管理者として活動してまいります。

文化事業については、引き続き、市民の皆様の芸術文化活動に資するため、「鑑賞」、「育成」、「普及」、「発表・支援」事業に取り組めます。特に、本格稼働を迎える公会堂は、皆様のご期待に沿う事業を展開するとともに、会館の使用においても、これまで以上に利用いただける施設になるよう努めます。

科学事業については、これまでの事業成果を踏まえ、科学好きな子どもたちの育成のために継続しなければならない日常事業と、季節ごとに魅力的な企画事業を実施してまいります。

図書館事業については、教育及び文化の情報拠点として生涯学習の支援を図る運営事業として、資料・情報提供サービスの充実にも努めるとともに、ボランティア・生涯学習グループ等と協働し、集会文化活動の推進に取り組めます。

本財団は、コロナ禍が続くであろう令和3年度においても、感染対策に配慮しつつ、広く芸術文化、科学、教育に関する事業を通じて市民の皆様の心豊かな生活を育むべく、これらの事業に最大限取り組んでいく方針です。

Ⅱ 令和3年度 事業概要

基本方針に基づき、定款の目的に沿った事業を展開することで、公益法人の使命達成に向けた取り組みを進め、防府市の文化振興を図ります。

また、収益事業についても、利用者のサービス向上につながる運営に努め、公益目的事業の財源として活用します。

1 文化の創造・発信及び文化活動の支援事業

「市民一人ひとりが文化を享受し、文化を育み、文化を創り出すことができる環境づくりを行う」という本財団の基本理念に沿い、令和3年度においても、鑑賞、育成、普及、発表・支援事業それぞれにおいて、市民の皆様に親しまれる幅広い事業を展開してまいります。

特に、令和3年度は、コロナ禍において落ち込んだ各地からの来客を取り戻すため、当財団が中心となり他市に先んじて文化イベントを企画実施することによって、コンサートや展覧会等を待望している県内外の方を防府市に誘い、観光客とは異なる多様な層を集客し、地元経済の発展に寄与します。

また、新しく立ち上げた SNS や予約システムによるデジタル戦略にも力を入れます。

防府市公会堂・防府市地域交流センター（アスピラート）

(1) 音楽鑑賞事業

クラシックからポップスまで様々な質の高い音楽を、防府市民をはじめとする来場者の方々に提供し、音楽への興味・関心を高めていきます。

新しく生まれ変わった防府市公会堂を市民の皆様にご覧いただけるよう大型公演など多彩な事業を企画し、音楽文化の裾野を広げるための取り組みに努めます。

また、防府市出身のアーティストを大切にするとともに、地域のニーズをつかみ、魅力的な音楽鑑賞事業を展開します。

① クラシック

ア 主催事業

- a 第21回防府音楽祭くほうふニューイヤーコンサート2022>
…2022年1月7日(金)～10日(月・祝)(予定)
会場：アスピラート、防府市公会堂他

- b 澤和樹 室内楽コンサート
…2021年11月6日(土) 会場：アスピラート

イ 共催事業

- a 小松亮太ピアノコンサート
…(11月中旬予定) 会場：防府市公会堂

その他1～2本を予定

② ポップス等

ア 主催事業

- a ポップス等コンサート 1～2本
…(内容・開催時期未定) 会場：防府市公会堂

イ 共催事業

- a 吹奏楽の夕べ2021 ブリヂストン吹奏楽団久留米コンサート
…(10月頃予定) 会場：防府市公会堂

その他2～3本を予定

…(内容・開催時期未定) 会場：アスピラート、防府市公会堂

③ 伝統文化

ア 共催事業

- a (仮称)伝統芸能公演
…(内容・開催時期未定) 会場：防府市公会堂

(2) 音楽育成事業

防府音楽祭への出演を含め、参加者の充実度をより高めるとともに、音楽を聴くだけでなく、参加することの喜びを体験できるようなカリキュラムで展開します。

- ① こども合唱教室 …月4回(毎週土曜日) 会場：アスピラート他
- ② 弦楽合奏教室 …月2回(日曜日) 会場：アスピラート他
- ③ 吹奏楽教室 …月4回(毎週月曜日) 会場：アスピラート他
- ④ 合唱教室 …月3回(毎週木曜日) 会場：アスピラート他
- ⑤ チェンバロ講座(全3回程度)

…2021年8月～10月(予定) 会場：アスピラート

(3) 音楽普及事業

各種音楽セミナーを開催し、音楽に対する興味・関心を広げてもらうように普及事

業を展開します。

① 主催事業

ア (仮称)音楽セミナー 田中雅弘の音楽旅日記 19

…2021年7月11日(日) 会場:アスピラート

イ (仮称)音楽セミナー 楽器と音楽

…2021年8月下旬頃 会場:アスピラート

② 共催事業

ア 室内楽セミナー

…2021年7月頃 会場:アスピラート他

(4) 美術鑑賞事業

令和3年度は、イラストレーション、写真、日本画および現代美術と、多岐にわたるアートイベントを実施します。

企画する展覧会3本はすべて山口県や中国地方初開催です。地元テレビ局とタイアップし、メディア戦略に力を入れるほか、SNSを中心としたデジタル戦略に地元の高校生などと連携して取り組みます。

また、延期された東京オリンピックパラリンピック期間には「TOKYO2020 参画プログラム」を地元のアーティストや学生と連携して実施し、スポーツとアートによる文化振興も目指します。

① 主催事業

ア 防府市制施行85周年・山口放送開局65周年記念(仮)

企画展「ふわふわシナモロール展」

…2021年4月2日～5月16日 会場:アスピラート

イ 新見市・豊川市・防府市共同企画展 TOKYO2020 参画プログラム(予定)

企画展「驚異の93歳!インスタおばあちゃん 西本喜美子展」(仮称)

…2021年7月2日～8月15日 会場:アスピラート

ウ 防府市制施行85周年・山口放送開局65周年記念(仮)・防府商工高校参画事業
企画展「培広庵コレクション 美人画レボリューション!」

…2021年10月14日～11月14日 会場:アスピラート

エ 美術鑑賞バス(2回)

…i)2021年6月頃(予定) 行先未定

ii)2021年11月頃(予定) 行先未定

オ 防府商工高校・山口県立大学連携・防府市景観百選WS連携事業(予定)

「幸せます×カメラ女子部写真展/アスピラートでクリスマス2021」

…ワークショップ:2021年6月～11月頃 場所:防府市内

展示:2021年12月頃 会場:アスピラート

② 共催事業

ア yab 山口朝日放送・朝日新聞社共同企画

ふるさとの匠たち～第 14 回「腕前探訪」

…2021 年 9 月頃(予定) 会場：アスピラート

(5) 美術育成事業

各展覧会やイベントに併せた各種ワークショップや講座に加え、市民から要望の多い幼児から楽しめる親子造形ワークショップを、現役の小学校教諭と共同で企画・実施し、アートによる子育て支援に取り組みます。

また、全県を対象とした小中高校生向けのデザインポスタープロジェクト等を行い、今後のデジタル社会に対応できる、デザインやイラストレーションなど将来の防府を担うクリエイターの育成に力を入れます。

① 主催事業

「ゆめあーとひろば」 6 回程度実施

…2021 年 6 月～2022 年 2 月(予定) 会場：アスピラート他

対象・定員：幼児～小学生

② 共催事業※名義共催

(仮称)瀬戸内デザイングランプリ 2021 年受賞作品展

…2021 年 11 月頃(予定) 会場：アスピラート

対象：山口県内の小中高校生

(6) 発表・支援事業

① 主催事業

ア フェスタアスピラート 2022(音楽部門)

…2022 年 3 月 6 日(日) (予定) 会場：アスピラート

イ フェスタアスピラート 2022(美術部門)

…2022 年 3 月 4 日(金)～3 月 6 日(日) (予定) 会場：アスピラート

② 共催事業

ア 防府少年少女合唱団演奏会 …2021 年 7 月 25 日(日) 会場：アスピラート

イ 防府吹奏楽団定期演奏会 …2021 年 12 月 5 日(日) 会場：防府市公会堂

ウ 防府弦楽合奏団定期演奏会 …2021 年 10 月 10 日(日) 会場：アスピラート

エ 第 30 回能章まつり …2021 年 10 月 30 日(土) 会場：アスピラート

(7) その他の文化事業

① 主催事業

コミカル・クラウン・サーカス

…2021年5月30日(日) 会場：アスピラート

② 会員招待事業

講演会

…(内容・開催時期未定)会場：防府市公会堂

(8) 文化施設の管理運営

施設の設置目的に沿ってそれぞれの特徴を活かしながら、市民が利用しやすい施設づくりに努めます。

① 防府市公会堂

昭和35年の開館から60年近くが経過し、耐震改修を主とした大規模改修工事を終えて、令和3年10月にリニューアルオープンしました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、イベント開催の際には、それぞれの主催者と入念に打ち合わせを行い、消毒や検温などを行い、市民の皆様が安心してイベントに参加していただけるような環境の整備に努めています。

また、改修工事の中で音響性能も整備しましたので、特に音楽の演奏会でその効果を発揮できるようになりました。

これによって、大型公演の開催や貸館の充実を図り、多種多様なイベントによって市民の皆様方にご満足いただけるよう努めてまいります。

② 防府市地域交流センター（アスピラート）

今年度は、新型コロナウイルス感染症の全国的な流行のため、春先の休館に始まり、イベントの中止や貸館のキャンセルが相次ぎ、大幅な利用率の低下と来館者数の減少となりました。

新型コロナウイルス感染症の収束がいつになるかは全く予想できませんが、徐々に国や県・市の対策が緩和されつつあり、来年度については多数の予約がなされている状況です。施設のご利用については、新しい生活様式を踏まえながら、より分かりやすく柔軟な対応を心がけるとともに、WEBサイトでの情報の公開を進めます。そして、これまで以上にお客様と詳細な事前の段取りの確認や業務の効率化の実施を心がけ、お客様に満足していただけるよう迅速で丁寧な対応を目指します。

施設面では開館から22年が経過し、老朽化による不具合箇所が多数出てきています。お客さまの安全と満足を保証するためにも、日常点検を強化し可能な限りの修繕と計画的な更新に努めてまいります。

また、来年度には駅前の活性化の観点から、1階の旧種田山頭火の部屋と大村能章の部屋の仕切りが解体され、1つの部屋に改装される予定です。この部屋の活用方法等については、関係機関と協議しながら模索していきます。

さらに、コンベンションに力をいれている防府市や防府観光コンベンション協会など地域社会との連携活動を推進するとともに、これまでと同様に、社会科見学やインターシップの積極的な受け入れ、バックステージツアーの開催などにより、多くの市民にアスピラートに親しみをもってもらうきっかけづくりに努めます。

(9) 財団会員の運営管理

防府市文化振興財団では、文化事業をはじめ財団の各事業について、市民の皆様にご理解とご支援をいただく財団会員の募集活動を実施しています。会員特典として「財団通信」（隔月発行）の配布や会員先行販売・割引などを実施しています。

平成29年10月に開始した財団メールマガジンでは、防府市文化振興財団の各施設でのイベント最新情報をパソコン・スマートフォンなどに毎月1回以上発信しています。

今後も事業活動を通じ有意義で魅力のある取組みを展開し、財団会員の増加を図ってまいります。

2 科学及び科学技術に関する知識の普及・啓発を図る科学館運営事業

市民の科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図るとともに、創造性豊かな青少年を育成することを目的として設置された防府市青少年科学館は、「科学を、やさしく、ふかく、たのしく」をモットーに、ともに学び、考える機会を創出し、楽しむことのできる施設運営に取り組んでおります。

令和3年度は、これまでの事業成果を踏まえ、科学好きな子どもたちの育成のために継続しなければならない日常事業と、季節ごとに魅力的な企画事業を実施します。特に日常事業においては、昨年度の新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として取り組んだ新しい事業を継続して取り組み、年間を通じてより充実した科学の学びの場を提供していきます。

なお、令和3年度は、第四期指定管理期間の最初の年となることから、5年間のベースとなる運営や事業内容の検討をしてまいります。

(1) 教育普及事業

① 日常事業

令和3年度は、たのしい工作、サイエンスショー、太陽望遠鏡ガイドツアーなどの対面指導等を伴う科学普及活動は、新型コロナウイルスの状況を鑑み、実施スタイルの変更を考慮した開催を検討していきます。

また、常設展示を利用した「クイズラリー」や、様々な切り口の「スポット展」の

開催、自宅でもできるソラールオリジナル制作動画「おうちでやってみよう！サイエンス」の当館HPでの公開など、新しい事業スタイルを展開しながら、幅広い年齢層にも、科学の楽しさや奥深さを探求できるような科学普及事業を提供します。

ア たのしい工作

土・日・祝日や、学校の春休み・夏休み・冬休み期間に、主に幼児から小学生を対象にした簡単な工作教室を開催します。月ごとにテーマを変え、科学的な原理や道具の使い方などを学習できる教室です。

昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため、対面指導を中止し、自宅でも体験できるように予め加工した工作教材、解説書・工作工程動画の制作など、工夫した「工作キット」にして来館者に配布し、提供しました。

令和3年度も、新型コロナウイルスの状況によっては、工作キットにして来館者に配布し、昨年度に引き続き、自宅でも工作で科学の学びができるよう提供します。

イ サイエンスショー

科学の原理をショー形式で紹介し、楽しみながら科学への興味を深めます。基本的には土・日・祝日に実施し、平日は幼稚園・保育園・学校団体等からの実施要望にも対応します。また、年齢層や学年に応じた内容のショーを提供し、幅広い年齢層に科学への興味・関心を喚起するきっかけづくりを行います。

令和3年度は、新型コロナウイルスの状況によって、実施回数の変更や観覧人数制限など、安全・安心への配慮した実施を検討します。

ウ ソラールの科学教室

電子工作や木工工作、化学実験などの幅広い分野の教室を通して、科学の原理ものづくり技術を掘り下げて学び、体験できる場を提供します。また、植物や昆虫などの、特に防府の自然を観察する教室を通して、観察技術に加え、身近な自然に目を向け、生物多様性や地球環境問題を考えるきっかけづくりになる場も提供します。

令和3年度は、新型コロナウイルスの状況によって、実施会場での3蜜を避けるための定員減や実施回数の変更など、安全・安心への配慮した実施を検討します。また、需要の高い幼児～小学校の低年齢の親子講座や指導者向け講座の新規開催、他の教育機関・団体との連携教室の開催も検討します。

エ スポット展示

昨年度は、新型コロナウイルスによる、すべての体験型展示の中止に伴い、来館者への科学普及活動を維持するための対策として、太陽や月などの天文に関するパネル展示、鉄道模型を走らせる展示、冬の昆虫をテーマにした展示などを急遽開催し、展示に触らなくても科学を学ぶことのできるミニ展示を実施しました。

令和3年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響を鑑み、その時期に話題となった科学テーマや、昨年度実施効果があり毎年定番となり得るような

テーマを取り入れながら、企画展との同時開催や、常設展示のみの期間の開催など、状況に応じて3～4程度の「スポット展示」の効果的な開催を検討します。また、全国の科学館を無償で巡回するようなスポット企画も積極的に開催します。

オ クイズラリー

常設展示を、これまでよりもまた違った視点で体験し、既存の展示での学びをより充実したものになるよう、展示の科学内容に関連したクイズラリーを実施します。

昨年度は、新型コロナウイルスによる、体験型の多い常設展示の使用中止に伴い、特に社会見学の学校団体に充実した館内体験を提供できるよう、回廊展示室を利用したクイズラリーを制作し提供しました。また、年齢層によってクイズの内容を変更し、幼児や小学校等の団体、一般の来館者などの幅広い年齢層が楽しめるよう工夫をしました。

令和3年度は、昨年度に引き続き、特に学校団体が回廊展示室の展示を学べるようなクイズラリーを制作し、提供します。

カ 「おうちでやってみよう！サイエンス」動画公開

昨年度は、新型コロナウイルスの影響で、実施できなかった科学普及活動の代わりとして、「おうちでやってみよう！サイエンス」と題した当館職員制作のオリジナル動画を当館HPと館内で随時公開しました。動画では、自宅にある材料で、親子で実施できる工作や実験を紹介しました。また、必ず「なぜ？」を問う発問を入れ、自分で課題解決を考える要素を盛り込む構成を心掛けました。

令和3年度も引き続き、自宅でも科学を楽しんでいただけるよう、随時動画を作成し、公開していきます。

② 特別事業

子どもから大人まで幅広い人々が、身をもって科学の不思議な世界を体験し、科学を楽しみつつ、抱いた疑問を解決へ導き、科学への興味や関心をより深めることができる事業を展開します。より多くの人々が来館されるよう、魅力的で多様な企画を実施して、科学に親しむ機会を提供します。また、企画に関連した講座なども行います。

ア 企画展「おもしろミネラル探検隊（仮称）」

【令和3年4月1日（木）～5月16日（日） 40日間】

私たちが住んでいる地球のほとんどは「ミネラル（鉱物）」で、出来ています。鉱物とは、主に小さな粒で出来ていますが、たくさん集まると石になる物質です。また、鉱物は、地球や宇宙でつくられた自然の恵みであり、お宝でもあります。古くから、装飾や美術品、そして、資源として、人間と深い関わり合いをもってきています。

西暦2019年は、メンデレーエフが元素の周期律を発見して150年目の年で

した。実は、鉱物からも多くの元素が発見されており、化学の基礎は鉱物なくしては語ることはできないと言われるほどです。これを機会に、今一度「鉱物とは何だろう？」という問いに答えるために、実物を見ながら、それらのでき方や産状、種類、生活の中で役に立っている鉱物について分かり易く解説します。また、不思議な特徴や面白い特徴をもつ鉱物も紹介します。さらに、レアメタル、レアアースといった、今以上に必要になってくる元素を含んだ鉱物についても触れます。

この企画展をとおして、鉱物が私たちの生活の中で欠かせない重要で限りある資源であることを再認識していただくとともに、地学や化学分野、また、それらを原材料としている工業技術分野にも興味と関心をもっていただくことを目的とします。

イ 特別展「国際周期表年特別展」

【令和3年4月1日（木）～5月16日（日） 40日間】※1/23から継続開催

2019年は、メンデレーエフが元素の周期律を発見してから150周年という記念の年でした。

国際周期表年実行委員会は、これを記念して、現代までの周期表の変遷、元素発見の歴史と日本人元素・材料研究者の活躍、海外の周期表や日本人作家によるユニークな周期表などを展示し、周期表や元素を実物と体験で楽しく学習できる巡回展示「国際周期表年2019特別展」を制作しました。

当館でも、科学館の役割の一つとして、これらの展示物を借用し、鉱物や都市鉱山といった科学技術と生活の関係や、日本人研究者の活躍などわかりやすいパネルや実物、そして、体験型展示で紹介します。

難しいと思われている元素の世界を分かり易い展示で紹介することにより、多くの方々に興味と理解を深めていただくことを目的に開催します。

昨年度（令和3年1月23日）から継続し、企画展「おもしろミネラル探検隊（仮称）」との同時開催します。

ウ 夏休み特別企画「サイエンスアカデミー2021」

【令和3年7月31日（土）～8月20日（金） 18日間】

当館が毎年開催している夏休み恒例の特別企画です。講師に、小学校から大学までの先生方、企業や他の博物館の方などをお迎えし、幅広い分野の講座を実施します。また、予約なしで参加できる工作コーナーも実施します。

昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため、開催を中止しました。令和3年度は、県内学校の夏休みの期間短縮の傾向を踏まえ、より子ども達が自由研究のヒントにしたり、科学を体験する機会を増やすため、昨年度までの14日間の会期から4日追加して18日間の開催とし、より充実した夏休

みイベントとなるよう努めます。

エ 防府市小中学校科学作品展

【令和3年9月29日（水）～10月3日（日） 5日間】※会期は予定

防府市小・中学校教育研究会理科研修部との共催事業として、市内の小・中学校の児童・生徒の夏休み自由研究・工作から校内選考で選ばれた優秀作品を展示します。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止となりましたが、令和3年度は、防府市小・中学校教育研究会理科研修部と調整しながら、新型コロナウイルスの状況に応じて開催を検討します。

オ 企画展「ミラクルワールド！万華鏡展（仮称）」

【令和3年10月30日（土）～令和4年1月16日（日） 62日間】

鏡や光などの“科学的視点”と美しいデザインの“芸術的視点”の2面を織り交ぜた、「万華鏡」をテーマにしたソラールオリジナルの企画展です。芸術品としても有名な「万華鏡」を通して、当館のテーマの1つである“光”と鏡の科学を、幅広い年齢層が楽しみながら体験し、学んでいただくことを目的に開催します。

本展では、今まで企画展の開催のなかった冬休み期間まで開催会期を伸ばし、より多くの方に本展をご覧いただけるよう努めます。

（2）情報収集保管事業

太陽望遠鏡による太陽観測映像や、科学に関係した資料を収集保管します。また、収集した資料を使った展示や学習支援活動により、科学や科学技術に関心を持ち、考える機会となるよう、所蔵資料の効果的な活用に努めます。

（3）啓発調査研究事業

防府の自然や、科学教育、科学技術などに関する調査研究を行い、地域の科学教育の推進に努めます。また、科学の楽しさを伝えるための教材開発にも取り組みます。

（4）学校連携及び外部連携事業

① 学校連携事業

市内の小中学校への出前講座や機器の貸出しなどを通して、青少年への科学の普及活動を積極的に行います。

また、インターンシップ、職場体験学習、学芸員実習の受け入れによる、人材育成支援も行います。

さらに、社会見学の学校団体の滞在時間に応じて、サイエンスショーやクイズラリー

ーなどの団体専用のプログラムを盛り込んだ、館内体験プログラムを学校ごとに作成し提案します。新型コロナウイルス対策の一環として、団体同士や一般のお客様との3密を避けるよう、安心・安全且つ、充実した科学の学びができるよう努めます。

② 外部連携事業

博物館や大学、企業、地域の団体、並びに科学系博物館加盟上部団体と連携し、楽しみながら科学への興味を深めることができるアウトリーチ活動や科学教室、企画展の開催を目指します。

また、外部の団体と連携することで、社会に根差した科学館となるよう努めます。

③ 防府市少年少女発明クラブ

防府市少年少女発明クラブでは、ボランティアグループ「サイエンスFUNクラブ」のメンバーが指導員となり、子どもたちが主体的に学びながら、楽しんで活動しています。

様々な活動の中で、ものづくりにも挑戦しています。作品の一部は、ソラールのクリスマスで展示していましたが、昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、ソラールのクリスマスを実施できなかったことにより、展示をしませんでした。

令和3年度は、ソラールのクリスマスの計画はありませんが、何らかの機会を設けて展示できれば、クラブ員にとっても良い励みになると思っています。

また、公益社団法人発明協会主催の「未来の科学の夢絵画展」への参加など、科学的な創作活動を続けている発明クラブの活動を引き続き支援します。

(5) 科学教育指導員派遣事業

増加している出前講座の依頼に対応するため、必要な知識・技術をもった人を指導員に育成したり、指導員のスキルアップの支援をしたりして、科学教育指導員派遣事業を更に充実させます。

(6) 情報提供活動

ホームページやSNSをはじめ、「そらーる通信」や「ソラール年報」で活動の情報や実績を広く紹介します。また、財団通信や市広報、報道機関への情報提供にも努め、積極的にPR活動を行います。

そのほか、小学校の社会見学など団体利用の誘致を進め、施設の利用促進に努めます。

(7) 財団会員特典

これまで、芸術文化など科学とは異なる分野に興味があり科学館を利用されなかった方にもご来館のきっかけとなるよう、平成28年度から開始した防府市文化振興財団の

会員に対する割引を継続します。さらなる利用促進に向けて、身近なテーマを取り上げるなどして、利用者の裾野の拡大に取り組みます。

3 学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興に関する事業

視聴覚教育の振興を図るため、学校教育や社会教育における学習支援につながるような事業に取り組んでまいります。

(1) 視聴覚教材や機材の計画的な充足

視聴覚教材や機材に対する利用状況や利用者の要望を分析するとともに、運営委員会などで検討をして、具体的な充足計画を策定します。充足計画に従って教材などを整備し、整備した教材などの内容を利用者に紹介し、利用促進を図ります。

また、地域の映像教材も引き続き制作します。

(2) 視聴覚教材や機材の貸し出し

学校、社会教育施設などに、DVDなどの教材、プロジェクターやDVDプレイヤーなどの機材を貸し出します。

教材の目録については、防府市視聴覚ライブラリーのホームページで検索できるよう、引き続きデータの整理、更新を行います。また、機材の保守点検に努め、利用者の要望に応えられるように努めます。

(3) 防府市青少年科学館の多目的ホールでのビデオ上映

科学館の事業内容に適する教材を選定して上映することにより、科学教育普及事業を支援するとともに、科学館の魅力づくりにつなげます。

(4) 市内小学校の巡回ビデオの支援

防府市小学校教育研究会視聴覚教育研修部の先生方が選定された教材(DVD)が市内小学校を巡回する「巡回ビデオ」の実施に伴い、各小学校に教材を配送し、小学校の視聴覚教育を支援します。

(5) 講習会の開催

地域住民の視聴覚教材制作への関心を高め、技術の向上を目的とした視聴覚機器の技術講習会を開催します。また、情報モラル学習など視聴覚に関する学習機会を提供します。

(6) ホームページの充実

自主制作の「地域教材ビデオ」などについて、防府市視聴覚ライブラリーのホームページから自由に閲覧できるよう、引き続き整備・更新します。

4 教育及び文化の情報拠点として生涯学習の支援を図る図書館運営事業

「私たちの目指す図書館像－防府図書館の任務と目標－」を具体化した「第2次防府市図書館サービス振興基本計画」に沿って、市民のための図書館サービスを推進します。

(1) 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

① 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館

ア 資料収集業務

図書館資料の適正な選書・収集を、「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づいて行い、質・量両面の充実を図ります。図書購入目標冊数12,600冊。内一般9,500冊、児童3,000冊、郷土関係100冊。視聴覚資料の購入目標点数155点。内CD130点、DVD25点。

イ 資料分類・目録整備業務

資料の受入れに際しては、体系的・継続的に管理するための迅速・正確な資料組織化・整備を行います。資料受入れ時に、日本十進分類法新訂10版に基づく適切な書架分類と配列、日本目録規則に基づく事務用コンピュータ目録を作成し、利用者に分かりやすいOPAC（オンライン閲覧目録）の検索画面等を提供します。

ウ 書架管理・蔵書点検業務

書架の整理整頓に努めるとともに、返却資料を迅速に処理し、12月と3月に全開架資料の蔵書点検を行います。延滞資料については電話・葉書・Eメール等により定期的に返却を督促し、延滞資料に予約が入った場合は随時督促を行います。

エ 資料提供業務

窓口カウンターでは、資料の貸出及び返却業務、利用登録業務、予約・リクエスト受付業務等を、正確、迅速に行います。また、個人情報保護の観点から自動貸出機の利用奨励を図り、より利用し易い環境の整備に努めます。

② 老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館

ア コンピュータシステム管理業務

コンピュータシステムの円滑な運用により、サービスの強化を図ります。Web上での資料検索・予約・貸出期間延長、利用者が自ら読書履歴を管理する読書手帳、

Web上で読みたい本や既に読んだ本を管理するMy本棚、読書目標や読書量を個人管理する読書マラソン等の機能の活用により、図書館利用の促進を図ります。

また、契約期間満了につき、12月にシステム更新を行います。

イ 情報発信（広報）業務

ホームページ上の情報を随時更新して内容の整備を図り、電子媒体による情報発信の充実に努めます。また、月刊の「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」等の広報紙や行事チラシを発行するとともに、市広報「ほうふ」、防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」、防府市文化振興財団広報紙「メールマガジン」及び「防府市メールサービス」に、記事を定期的に掲載します。地域コミュニティFMラジオやケーブルテレビ等のメディアも活用します。

ウ 図書館年報作成業務

「令和2年度図書館年報」（一般用版・子ども用版）を作成し、冊子及びホームページで公表します。

エ サービス環境整備・安全対策・危機管理業務

施設・設備・備品の点検を日常的に行い、適正な清掃業務を実施して、安全で快適な利用環境の整備に努めます。図書館は不特定多数が利用し、自由に出入りできる場であることを踏まえ、施設管理会社・警備会社・警察等と連携して、的確な状況把握と防犯管理に努めます。安全管理上問題がある行為や迷惑行為に対しては、毅然たる態度で対応します。自然災害、火災、事故、犯罪等の発生に適切に対処するため、危機管理体制の不断の改善、年2回の定期避難訓練等の実施により、全職員が、緊急事態や危機に際し的確な対応が取れるよう備えます。

オ 利用マナー啓発業務

日常的に利用マナー向上のための啓発活動に努めるとともに、7月1日から8月30日まで「マナーアップキャンペーン」を実施、併せて幼児から小学生までを対象とした啓発イベント「グッドマナーチャレンジ」を行います。

③ 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館

ア 移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務

図書館から遠距離に居住する方、障害のある方、交通手段のない方等の幅広い利用を促進する市内全域サービスの充実に図るため、移動図書館車「わっしょい文庫」に常時約3500冊の図書を積載し、6コース36ステーションを2週間に1回の周期で巡回します。業務を適正に運用するため、コース、ステーション等は、半年毎に見直しを行います。また、市内各地で開催されるイベント等に合わせ、移動図書館車の臨時出張サービスを行います。

④ 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館

ア レファレンス（調査研究相談・読書相談）業務

資料相談カウンターでは、司書有資格者が、利用者への調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスを行います。児童カウンターにおいても、資料利用案内・読書案内等の業務を行って、子どもの学習活動・読書活動を支援します。また、参加登録をしている、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧業務の利用促進や、「レファレンス協同データベース」の活用を図るとともに、他の図書館や市内外の関係機関等に照会したり、利用者をこれらの機関へ案内・紹介したりするレフェラルサービスを行います。レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー（テーマ別資料利用案内）等の充実に努めるとともに、レファレンス研修やフロアワークの強化に努めます。

イ 図書館資料の複写サービス業務

利用者の求めに応じ、著作権法や防府市手数料条例に基づいた図書館資料の複写サービスを適正に実施します。

(2) 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

① 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館

ア ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務

- ・「第10回防府市子ども読書フェスティバル」（6月5日（土）開催）
- ・「第31回防府図書館まつり」（10月開催）

上記のイベント等について、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催し、図書館事業への市民参画の推進を図ります。

② 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館

ア ボランティア活動推進業務

- ・「防府図書館ボランティア連絡会議」（1月開催）

図書館ボランティアの現状と課題について、図書館とボランティアとが認識を共有し活動環境を整備していくため、情報や意見を交換する会議を開催します。

- ・「図書館ボランティア養成講座」（2月頃4回シリーズで開催）

図書館ボランティアの裾野の拡大と活動内容の向上を図るため、必要な基礎知識の習得と技術の向上に資する講義・演習を行う講座を開催します。

(3) 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

① 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

ア イベント・懇談会業務

- ・「トークイベント」（6月5日（土）開催）
「第10回防府市子ども読書フェスティバル」において、詩人・絵本作家の
林木林氏によるトークイベントを開催します。
- ・「防府図書館ビブリオバトル」（年2回開催）
読書推進活動の一環として、小学生から大人まで参加できる本の紹介コミュ
ニケーションゲーム、ビブリオバトル（知的書評合戦）を開催します。
- ・「月いちキネマ」（毎月1回開催）
主にシニアに向けたサービスとして映画鑑賞会を開催します。また、読書活
動へつなげるため、職員による関連図書を紹介する時間を設けます。
- ・シニア向け実用講座（年2回開催）
主にシニアに向けたサービスとして、生活する上で役立つようなテーマで講
座を開講します。また、読書活動への足掛かりとするため、職員による関連図
書を紹介する時間を設けます。
- ・「防府図書館利用者懇談会」（11月開催）
利用者の意見や提言を直接聴いてサービスの向上を図るため、参加者を募集
し利用者懇談会を開催します。

イ 資料展示・展覧会業務

展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター横での月例資料展示、新刊
コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示を、それぞれテーマを設定
し、定期的に行います。新聞・雑誌コーナー壁面では、市民や行政機関等が主催
の絵画・写真その他の作品展覧会を開催します。

② 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

ア 生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務

研修室他、集会スペースの利用許可業務を適正に行い、生涯学習グループに学習
の機会・場・設備・資料等を提供して、図書館での活動の支援に努めます。研修
室については、利用予定の無い日に学習室として開放します。

（4）地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

① 地域（郷土）資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

ア 地域（郷土）資料収集業務

地域（郷土）資料、特に防府市関連の資料について、防府図書館独自の特徴的な
コレクションの形成に努めます。年間地域（郷土）資料収集目標冊数450冊。

② 地域（郷土）の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

ア 上山満之進と三哲文庫顕彰業務

展示室内の常設展示「上山満之進と三哲文庫」について、随時、展示替えを行

います。ブラウジングコーナー壁面では、上山満之進の誕生月（9月）に合わせて特別展示を行います。また、三哲文庫開館80周年記念事業として、「防府図書館80年のあゆみ」を刊行します。

イ 「防府史料」刊行業務

地域史料等を翻刻または復刻し、ホームページ上にも掲載する「防府史料」刊行業務は、第71集を発行します。

③ 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

ア 春川市立図書館との資料交換業務

大韓民国春川市立図書館との資料交換協定に基づいて、100冊程度の資料を相互に寄贈・受贈し、受贈資料を市民の利用に供します。

(5) 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

① 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

ア 学校図書館支援業務

防府市教育委員会や市立小中学校との連携を密にして、学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書の出借や学校用貸出文庫の利用促進を図るとともに、学校司書研修の機会や場の提供に努めます。

イ 「地域文庫」・団体貸出業務

地域における読書活動支援業務の一環として、市内15ヶ所の公民館に設置している「地域文庫（配本所）」の利用促進に努めます。また、市内の施設・団体等の読書活動を支援する団体貸出業務として、貸出文庫の利用促進に努めます。

② 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

ア 他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務

他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・合同研修等を積極的に展開するとともに、文書館や博物館・美術館等との連携強化に努めます。

イ 本財団内連携業務

財団内連携推進会議を随時開催し、委員6人による各館の事業等に関する情報交換や、連携業務の展開について協議を行います。アスピラートや市公会堂・ソラールで開催される企画展やイベントに合わせ、関連図書の展示やブックトーク、おはなし会等を行うとともに、ミニブックリストやパスファインダー（テーマ別資料利用案内）等の作成・配付をします。また、「紅葉どんぐり便」の受付を本館や移動図書館車でも行い、これに関連した連携業務を行います。

(6) 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

① 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

ア 子ども読書活動推進業務

- ・「子ども図書館員」(7月～8月2回開催)

子どもたちの図書館業務への理解を深め、読書活動を推進するため、夏休みに小学校4年生～6年生を対象とした「子ども図書館員」を開催します。

- ・「第9回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」(8月～9月実施)

子どもたちの、資料を使って調査研究する能力を育むため、市内の小中学生を対象とした「第9回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を防府市教育委員会と共催し、学習能力の向上と図書館利用の促進・啓発に取組みます。また、コンクール参加希望者を対象に、テーマの決め方や調べ方について助言する「調べる学習にチャレンジ！」(7月～8月)を開催します。

- ・「読書感想文教室」(7月～8月開催)

子どもたちの読書活動を推進し、文章を書く力を育むため、夏休みに小学校中学年・高学年を対象とした「読書感想文教室」を開催します。

- ・「おはなし会」(家庭の日・クリスマス)

家庭における大人と子どもの読書活動を推進するため、毎月の家庭の日やクリスマスに「おはなし会」を開催します。

- ・職場体験・図書館見学等の奨励

職場体験等のインターンシップ、図書館見学等を奨励し、図書館への理解促進と利用拡大に努めます。

- ・出張イベント

市内の公共施設等に出張し、おはなし会等のイベントを開催します。

② 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

ア ボランティアとの連携・協働業務

ボランティア主催の諸行事・研修等において、図書館職員のブックトーク等を実施し、連携・協働を推進します。

(7) 障害者や高齢者に優しい図書館

① 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

ア 障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務

障害者・高齢者への資料・情報提供サービス向上のため、大活字本・音声資料等の整備・充実に努めます。また、「障害者サービスのご案内」リーフレットの点字版・音訳版、視覚障害者用音声付インターネットサービスの周知に努めます。

② 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館

ア 対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等の業務

ボランティアと連携し、対面朗読サービス・音訳図書製作等の推進に努めるとともに、障害者への郵送貸出サービスについて、周知と利用促進に努めます。

③ 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

ア 障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務

障害のある利用者のためのボランティア活動を支援し、ボランティアによる施設・設備・資料等の活用の促進に努めます。

5 収益事業

利用者のサービス向上につながるよう、チケットの受託販売や青少年科学館のショップ運営などを展開します。

これらの事業で得た収益は、公益目的事業の一層の充実を図るために活用します。

(1) チケットの受託販売

公会堂、地域交流センターでは、他館で開催されるチケットを積極的に受け入れ、利用者のサービスに努めるとともに、チケット購入で来館されたお客様に、本財団で実施する事業を知っていただく機会にします。

(2) ミュージアムショップ

防府市青少年科学館の魅力向上や利用者の利便性を図るため、ミュージアムショップを運営します。

品質が良く信頼性の高い商品を提供することで、お客様の満足度を高めるとともに、財源の確保につなげます。また、企画展の内容に沿った商品など、科学館の教育目的に関連させた商品の取り扱いを増やすことにより、科学館での体験をより豊かにするようなショップの運営に努めます。